平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	16310
政策名（章）	第6章　彩りのある市民文化を創造します	評価担当局	企画財政局
基本施策名（節名）	第3節　文化的視点に立った行政の推進	施策所管課	広報課
施　策　名	文化的視点に立った行政の推進	課長名	白井　誠一

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

市民に向け市政の情報を積極的に提供することで、身近な行政サービスの向上を図り、わかりやすく親しまれる市役所づくりを進める。
市政の情報を広報紙など様々な媒体で提供し、できるだけわかりやすく親しまれる内容・表現にも努める。
職員に対しては、行政に文化的なセンスや価値を取り入れるよう、各種の研修等を通じて意識改革や啓発を図る。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	115,010	282,842	
人件費	93,376		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	172	401	
合計	208,386	282,842	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

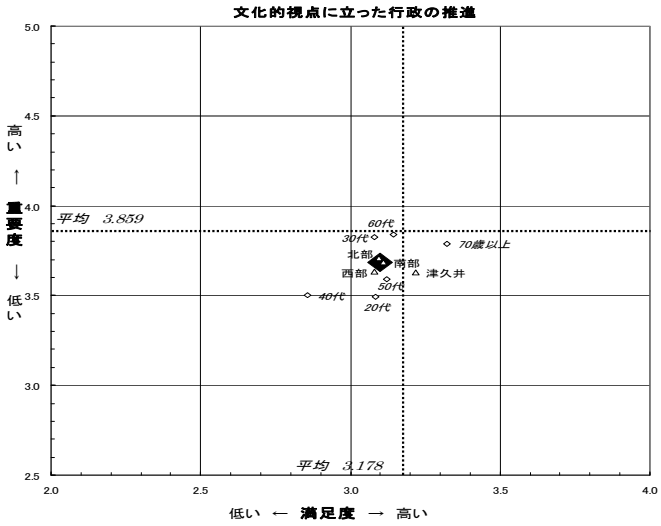
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	広報さがみはら閲覧率 「広報を読んでいる」と回答した人／調査対象者×100	H15年度の「市政に関する世論調査」の調査数値を基準値とする。（広報に関する調査は3年毎に実施）	指標がアンケート数値であり、前期実績値を超える値を目標値とする。最終的には、少なくとも市民の3/4に読まれるよう工夫・改善に
指標2	収集資料数	平成16年度実績から算出したH17の目標値を基準値とする。	合併により5%増、合併以降は2.5%増を目標とする。
指標3	コールセンター一次応対完了率（%）	転送せずに回答した件数/コールセンターへの問合せ件数×100	18年度は80%以上の一次応対完了率を設定
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	H15	73.4	74.0	71.7	74.0		75.0		75.0	
事業費／人員										
指標2（単位：件）	H17	17,000.0	18,500.0	18,786.0	19,000.0		19,500.0		20,000.0	
事業費／人員										
指標3（単位：%）	H18	80.0	90.0	87.4	90.0		90.0		90.0	
事業費／人員										
指標4（単位：%）										
事業費／人員										
指標5（単位：人）										
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.097で121施策の中で78番目。
〇重要度は3.683で87番目である。
〇改善要望度は-0.0675で76番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、20代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は津久井で最も高く、西部で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 2 (1)	
合計		3	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	広報紙の閲読率については、平成18年度の市政に関する世論調査によると、市政への関心が薄いといわれる20歳代が他の世代に比べ極端に低くなっており、この世代へ市政情報を届けることが大きな課題である。
解決策	若年層が利用する民間媒体を活用して、若者に関する市政情報を積極的に提供し、市政への関心を高め、広報紙の閲読率の向上を図る。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

施策の目的を明確化・具体化する必要がある ⇒改善計画書で対応する	2次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

◆文化なのか情報発信なのか、施策の目的を検証し、構成事務事業についても見直しを行うこと。 ◆指標2については、「資料の利用率」を検討すること。 ◆指標1・指標3については、他市と比較可能なベンチマーク指標を検討すること。	3次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

文化的視点に立った行政の推進

コード	16310

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
広報課	広報さがみはら	137,585	137,908	137,908	1	1	5.00	91,750	132,000
広報課	声の広報さがみはら	3,108	3,087	3,087	1	3	0.10	2,471	3,264
広報課	点字版広報さがみはら	2,153	2,108	2,108	1	4	0.10	1,618	2,411
広報課	~~暮らしのガイドブック~~ 市政紹介冊子等作成費	836	4,540	4,540	1	5	0.03	990	1,232
~~広報課~~	~~相模原市の概要~~					8	0.02	240	401
~~広報課~~	~~マイタウンさがみはら~~					7	0.08	347	991
~~広報課~~	~~VOICE　相模原~~					6	0.05	2,290	2,693
~~広報課~~	~~広報さがみはら縮刷版~~					9	0.02	230	351
情報公開室	公文書公開制度運営費（行政資料コーナー）	793	474	474	2	10	1.19	271	9,828
職員研修室	海外派遣研修	0	90	90		15	0.01	25	123
職員研修室	階層研修費	5,519	8,624	9,824		11	1.41	3,874	15,192
職員研修室	交流派遣研修	376	672	670		14	0.05	538	953
職員研修室	国内派遣研修	2,653	4,547	5,200		13	0.63	2,856	7,901
職員研修室	自己啓発研修	287	745	800		15	0.01	242	336
職員研修室	特別研修費	1,122	2,650	415		12	1.41	2,280	13,648
市民相談課	コールセンター運営経費	128,410	120,088	120,088	3	2	1.50	4,988	17,063
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		282,842	285,533	285,204			11.60	115,010	208,386